

☆ねらい

自分の将来の夢ややりたいことに関して書いたスピーチの原稿をグループ内で互いに評価し合う活動を通して、より相手に伝わりやすいものにすることができる。

☆扱う場面

第2学年 不定詞 (want to ~) の学習時における発展的な活動

☆指導の手順と留意事項 (3時間扱い)

| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 | |
|--------------------------------|---|--------------|
| ① モデルスピーチを聞いて、その内容を考える。 | ・使える表現を多く用いているスピーチを聞かせて、その内容を理解させる。 | |
| ② スピーチの大まかな内容をメモ用紙にまとめる。 | ・主要な内容のみ書かせる。 ① 自分の夢は何か? ② その理由は何か? (2つ) | WS 1 |
| ③ 下書き (First Draft) を書く。 | ・使える表現のリスト (IDEA BOX) を参考に書くように促す。 ・スピーチの展開に合わせて書かせる。 | WS 2 WS 3 |
| ④ スピーチの下書きをもとにグループ内で発表し、評価し合う。 | ・評価の規準を具体的に示す。 ① 表現 ② 英語 ③ 内容 | WS 4 |
| ⑤ 清書 (Final Draft) を書く。 | ・グループの人からのアドバイスを参考に書き直させる。 | WS 5 |
| ⑥ 学級でスピーチをする。 | ・グループごとに発表させる。 ・聞いている人は規準の3点について、良い点と改善すべき点をメモする。 ・「Best Performance Group」と「Good Speakers」を選ぶ。 | WS 6 |

☆その他の留意事項 (書く指導において有効な指導の手立て)

- ・ この発展活動の前段階の基本文練習時に、使う表現を意図的に定着させておく。
- ・ よいモデルスピーチを与える。
- ・ 学習者のレベルに合わせた表現リスト (IDEA BOX) を与える。
- ・ グループ内で、文法や語彙の選択 (英語) 及びスピーチの展開 (内容) が相手にわかりやすいものかどうか、という視点で評価させる。